

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	奈良市			代表者名	仲川 元庸
担当者部署(属性)	人事担当	担当者部署名	人事課人材育成室	連絡先電話番号	0742-93-3463
担当者役職	主任	担当者氏名	中村 愛子	連絡先E-mail	
住所	630-8580 奈良県奈良市二条大路南一丁目1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	奈良市人材管理システム導入事業
概要	昨年度調達したタレントマネジメントシステムを活用して、スマートシティを目指していくうえでの職員の戦略的な人材育成、適正配置を行っていただけるよう、システム活用方法について助言をいただきたい。		
支援を求める分野	EBPM AI活用 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 自治体セキュリティ 個人情報保護 スマートシティ		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	443	令和7年2月25日	支援・助言&フォローアップ	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年8月23日	支援・助言(オンライン)	15時00分	17時00分	
				活動時間(分)	120
2-2. 派遣場所	会場名		最寄駅		
	所在地		最寄駅からの交通手段		

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 秀樹
評価	よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">システムの専門家として元自治体職員として など多角的な目線から、かつとても熱心にご助言くださっています。
アドバイザーへの要望事項	特にありません

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	3人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3		0	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市の人事課題に対し、どのようなデータ(既存のもの・未収集のもの)が必要で、それらをどのように活用していくか、また、AIを含めた中長期のシステム活用方法についての助言 ※人事課題として、採用(内定辞退者の増加、入庁後の不一致・ミスマッチ)、配置・異動・任用(長期滞留者が多い、異動希望が叶えられない・管理職になりたくない意識の高まり、経験と勤に基づく人事配置)、研修(リスクリテラシー意識の低さ、個人のスキルに合わせた研修ができていない)、人事考課(中心化傾向によるモチベーション低下、個人の能力(強み弱み)が見えにくい)等が挙げられる。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	戦略的な採用・配置・育成等を行っていくため、タレントマネジメントシステムを最大限活用できるよう、必要なデータの収集を進めながら、蓄積・一元化する

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	アドバイザーからの助言等 ・予想以上にタレントマネジメントシステムの機能研究・実装が進んでいることを評価。 ・月次データ移行については、自動化を検討すべき。 ・人事異動シミュレーション機能は使いにくい印象を受けるが、経験と勤に基づく人事配置を脱するため、利用者がメリットを感じれるようにしながら粘り強く取り組んでいくべき。3か年を目標に。 ・タレントマネジメントの自治体人事ネットワークのようなものができるよい。奈良市に期待する。 ・人員削減に当たっては、DXによる工数減を考慮するとともに、DX自体の工数をおりこむことが必要であることに留意する。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	アドバイザーの支援を受け、今年度～来年度にかけての定期人事異動に当たり人事異動シミュレーション機能利用について、軌道修正を行う。月次データ移行について、来年度内部情報システム更新等のタイミングでの自動化について再度検討。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> ②事業に係るシステムを構築できた 人材管理システムの本稼働
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	人事異動シミュレーション機能は今年度末の人事異動で用いるため、効果検証は次年度以降に持ち越しとなる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 行っていない(理由:市職員3名程度を対象とした支援であり、直接の意見交流ができることから、アンケート形式では意見を求めている)	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input checked="" type="checkbox"/> ①予算は確保済みであり、年度内に推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	必要なデータをタレントマネジメントシステムに蓄積・一元化し、人材データを使いこなし、採用・配置・育成等を戦略的にやっていく。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

